

品川支部

令和二年1月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

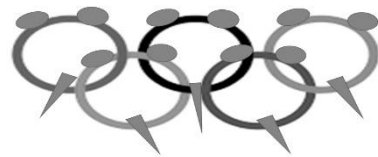
1月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

新年 明けまして おめでとうございます



立教百八十三年



☆支部行事のお知らせ

・支部例会一月三十日(二頁参照)

・教区ひのきしん ・神名流し

・正月行事のため一月は共にありませんので
二月以降、またよろしく願っています

・在宅センターひのきしん・婦人会初例会

一月二十八日(火)午前九時半〜十一時、

・今年も三味線・お琴等お稽古受け付けます

・世間的な三味線・お琴を習ってみたいという方
師匠が楽しく楽器の扱い方から教えてくれます
ので、希望の方個人でもグループでも表紙の豊英
分教会まで連絡下さい。

☆教務支庁からのお知らせ

・創立百十周年記念行事

・四月四日は真柱様ご夫妻、大亮様のお出まし
を頂き教務支庁百十周年記念の祭典が催され
ます。
・例年の記念行事は支部から模擬店が出ており
ますが、大勢の参加が見込まれ、スペースの関係
で今回は模擬店は有りません。代わりに豪華
弁当を配る事になっていきますので、人数把握が必
要になります。参加予定の方は所属、又は近く
の教会に人数をお伝えください。

立教183年支部例会へお誘い

品川支部では毎月会場を替え、月末
に例会を開催しています。
支部内の教会の方は勿論、特に自教会
が遠く「おつとめ」の機会が少ない方
の参加をお待ちしています。
毎月の会場は支部報に詳細が載ります
ので宜しくご参加下さい。
座りづとめ・よろづよ・当月の下りのおつと
めと当該教会長のお話で十一時から一
時間、その後昼食の用意もあります

立教183年支部例会の予定

1月30日(木)	初例会	本荏大教会
2月28日(金)	例会	本品分教会
3月30日(月)	例会	櫻京分教会
(4月は全国ひのきしんデイ等で例会は有りません)		
5月30日(土)	総会	水豊田分教会
6月30日(火)	例会	三ツ木分教会
7月21日(火)	例会	鶴平分教会
(8月はパラリンピック協力の為例会は有りません)		
9月30日(水)	例会	南泰分教会
10月30日(金)	例会	日倉分教会
11月30日(月)	例会	成東分教会
12月21日(月)	納めの例会	日本橋大教会

拠点教会	1日号	12日号	19日号	26日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本荏	直送	手配り	手配り	直送
都南	直送	手配り	手配り	直送
三ツ木	直送	直送	直送	直送
水豊田	直送	手配り	手配り	直送

時報手配り一月予定

品川支部例会

令和二年1月30日 (木)

11時開始

場所 本荏大教会

(品川区大井2丁目5-17)

内容 おつとめよろづよ八首 1下り目

東京教区、支部連絡事項 当該本荏大教会長 挨拶

昼食の用意頂いてます

*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



子年の今年は

豊英分教会



明けて

おめでとごい

年初めは干支の話から初
めて、思うところを書かせて
頂きます。

ご承知の事ですが干支と
は十干の干と十二支の支で
干支になります。今年庚
子(かのえね)という事です。
十干と庚と十二支の子との
組み合わせでこのような組
み合わせは六十年に一度繰
り返しますので六十歳の方
が還暦となります。

十二支で言えば今年第一
番目の「子」で、字から子だ
くさんのねずみが動物とし
て当てられています。又、十
干は庚という字で木・火・
土・金・水の五行(それぞれ
陽と陰があります)からくる陽の金
に当たり「金(か)のえ」とも
表せます。因みに来年は

陰の金で「かのと」になります。
又、子(ね)は水にあたり庚
の金から水が生じるという、
六年ぶりの陽陽の*相生で
良い年回りという事です。
世間的に平たく言えば、
やって来た事に区切りがつき、
新しく良い展開が始まる
ということになります。何でも
良いことならば、思いついて
始めるのに最適な年回り
と言えます。

お道で考えますと、十柱の
神様では、北にあたります
ので、「くに」とこたちの命様」
月様で、ここでも水の守護で
すね。只、一口に水と言っ
ても浄化、洗浄、と言うお
働きより、目、うるおいとい
う事で、生命の源、優しさの
あるうるおいという意味の方
がしつくりくると思います。
このご守護を妨げる事にな
るほりでは、「をしい」をあ
てる方が多いと思います。
これは毎日お読みいただい
てる方も多いことと思いま
す。これは毎日お読みいただ
いてる方も多いことと思いま
す。務めを欠き「嫌な」ことは人
にさせて、自分は楽をしたい
という心「出し惜しみ、骨
惜しみ」とお教えいただいで

いますので反対に、嫌なこと
でも人より先んじて行い、
出すものも自分が先頭を
切つてだせばよいという事
ですね。要は、どうすれば人
に喜んでいただけるかを考
えて通ることだと思えます。
ある先生から伺ったお話で
すと、八つのはりは、順番
に根が深いものになっている
のだそうです。

ぬくみのご守護で、「ほし
い」のほりがあてられるこ
とが多いと思います。
今年はおちばでも、婦人
会創立百十周年の年にあ
たり、又、子供おちばがえ
りも五十年の様相を変え
て新たに催されるとの事で、
一つの区切りから、子だく
さんの新しい展開となる事
が発表になっており、正に
庚子の年の動きを見せてい
ます。

教えは全て、陽気ぐらし
させるためのもので、まず第
一の神様「くに」とこたちの命
様」のご守護はですから、こ
の世、うるおいを感じるこ
ろであれば、それは陽気ぐ
らしの世界だろうと思われ
るほりです。又、おしいとい
うほりをなくすことが出
来れば、後の七つは自ずとあ
まり頭をもたげないで済む
のかも知れません。

この一年、私もこの年回り
と神様のご守護を「おしい、
ほしい」を払う事を心にお
いて楽しく陽気に過ごせる
ようにしたいと思っており
ます。
今年が皆様と縁の方々
にとって、笑い声が絶えない
達成感ある陽気暮らしの
年になりますように。

支部長 栗原 薫



*相生は一般に使われる相性の
良い人とかの相性の語源になった
言葉と言われています